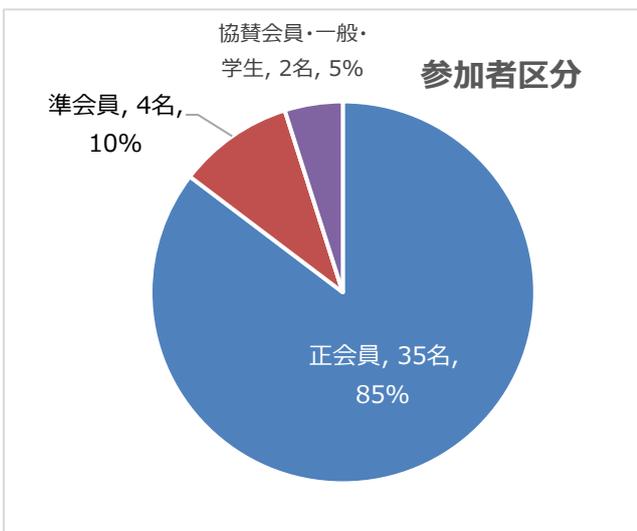
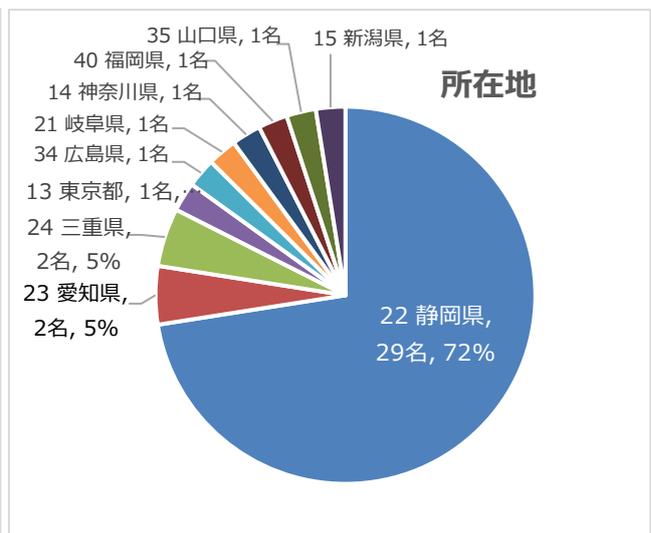
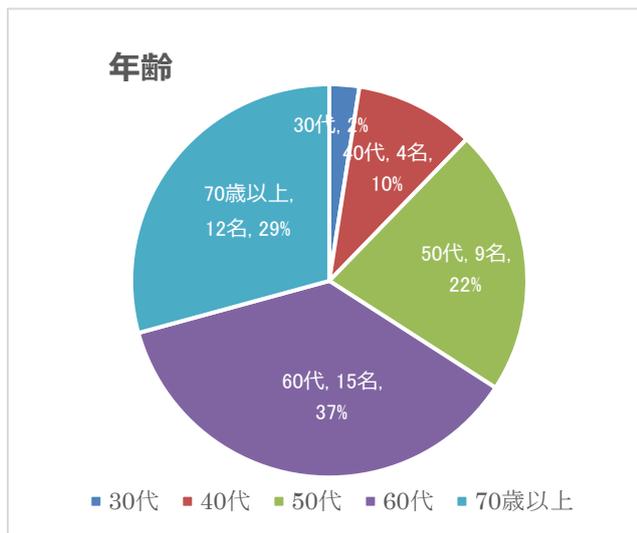


## 2025年度 第2回講演会 参加者アンケート集計結果

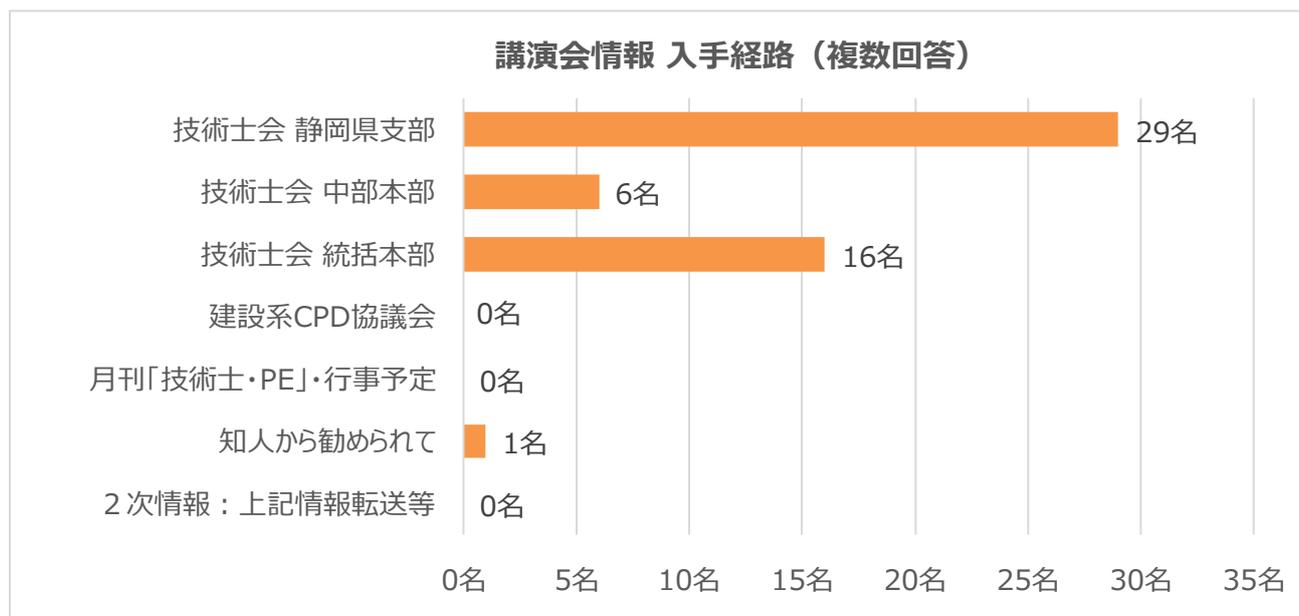
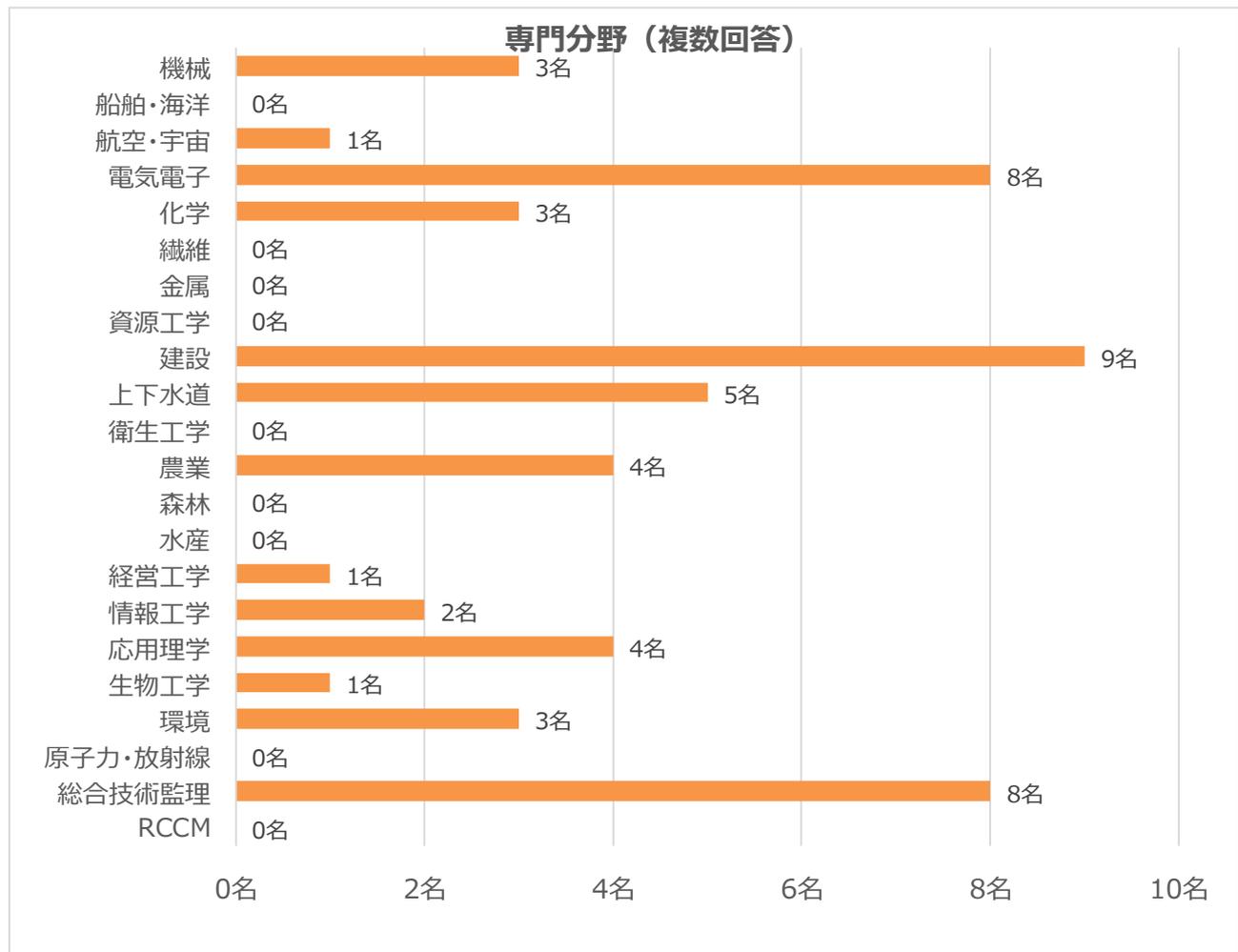
### アンケート集計条件 (講演会実施日：2025年8月16日)

アンケート回収方法：	Google フォームを活用した Web 経由による回収
アンケート回収期間：	2025年8月17日から8月26日 (10日間)
アンケート回収件数：	41名 (重複回答を除く)
アンケート回収率：	87% (講演会参加者47名)

### 講演会 参加者情報

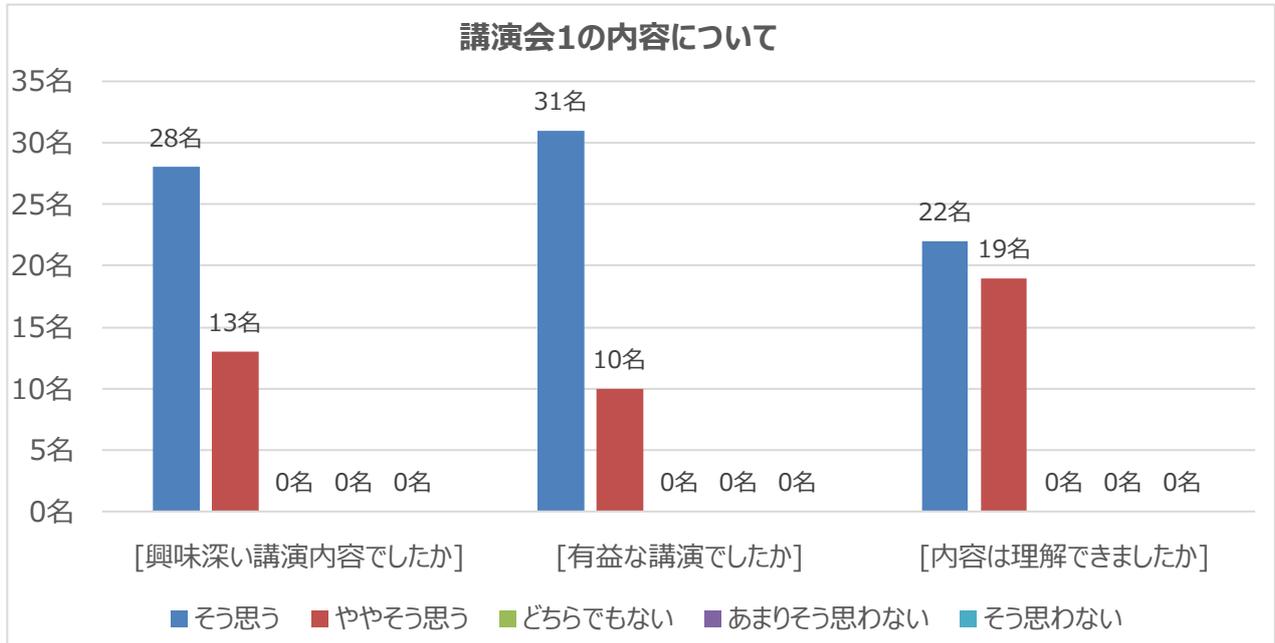


## 講演会 参加者情報

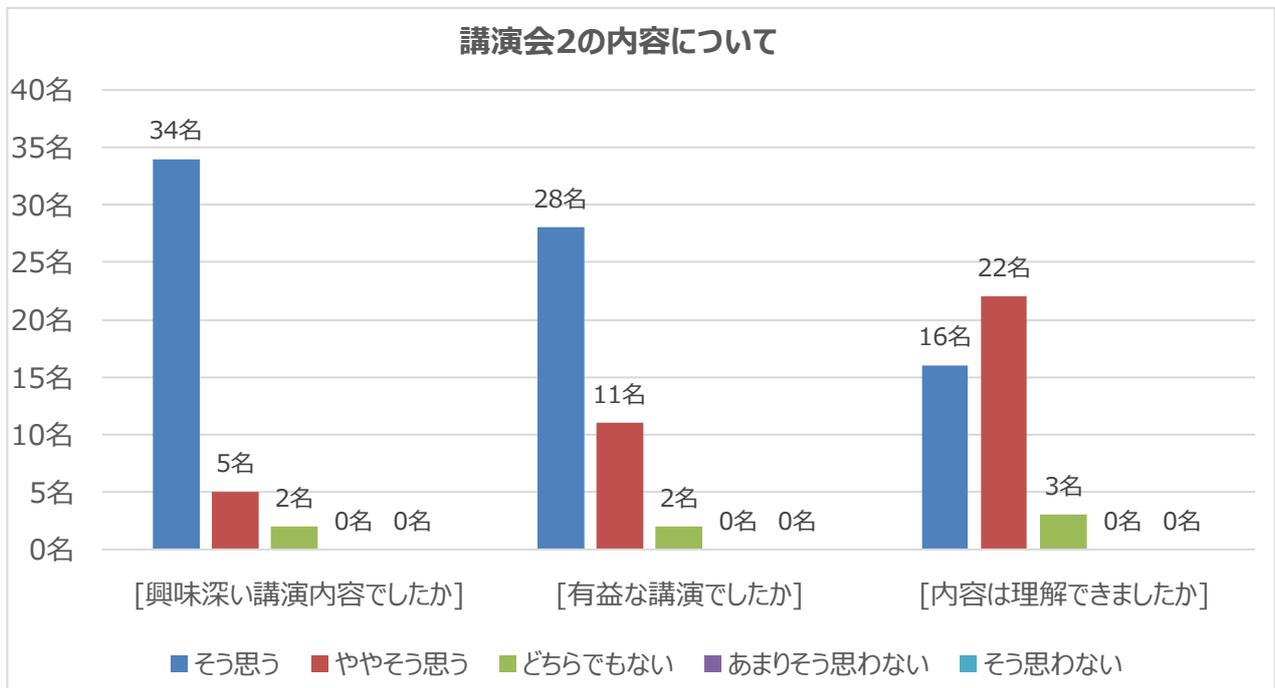


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

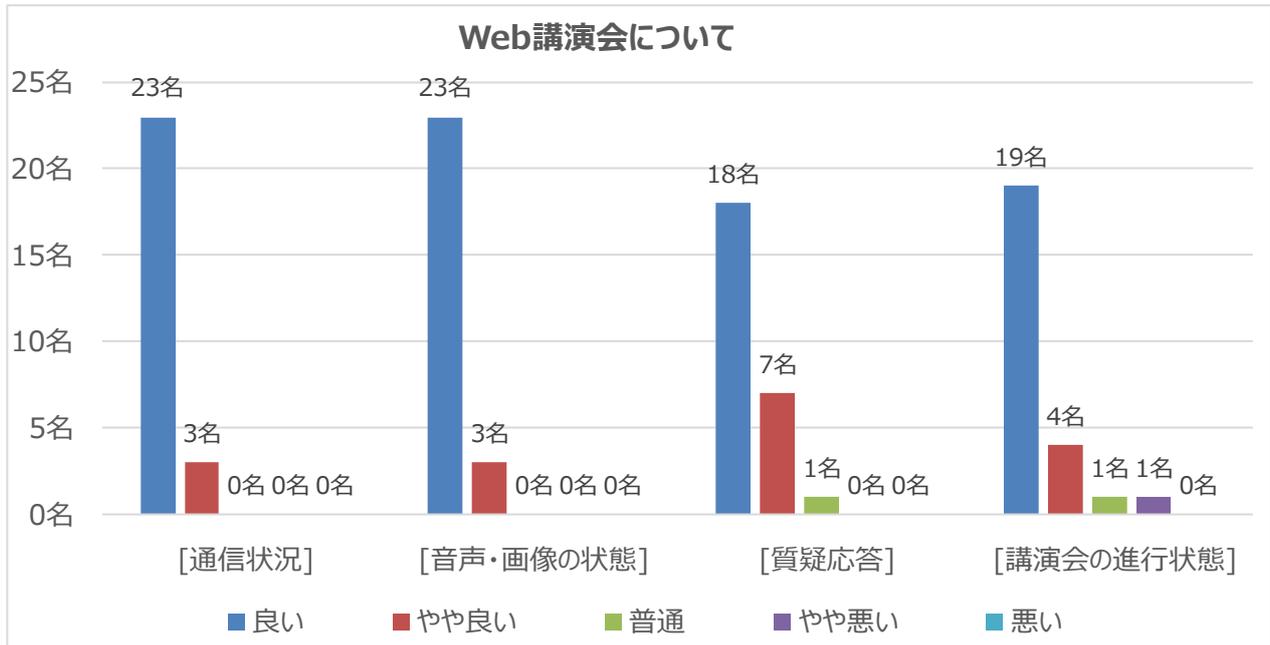
講演 1 「静岡農業の課題と今後必要な取組」



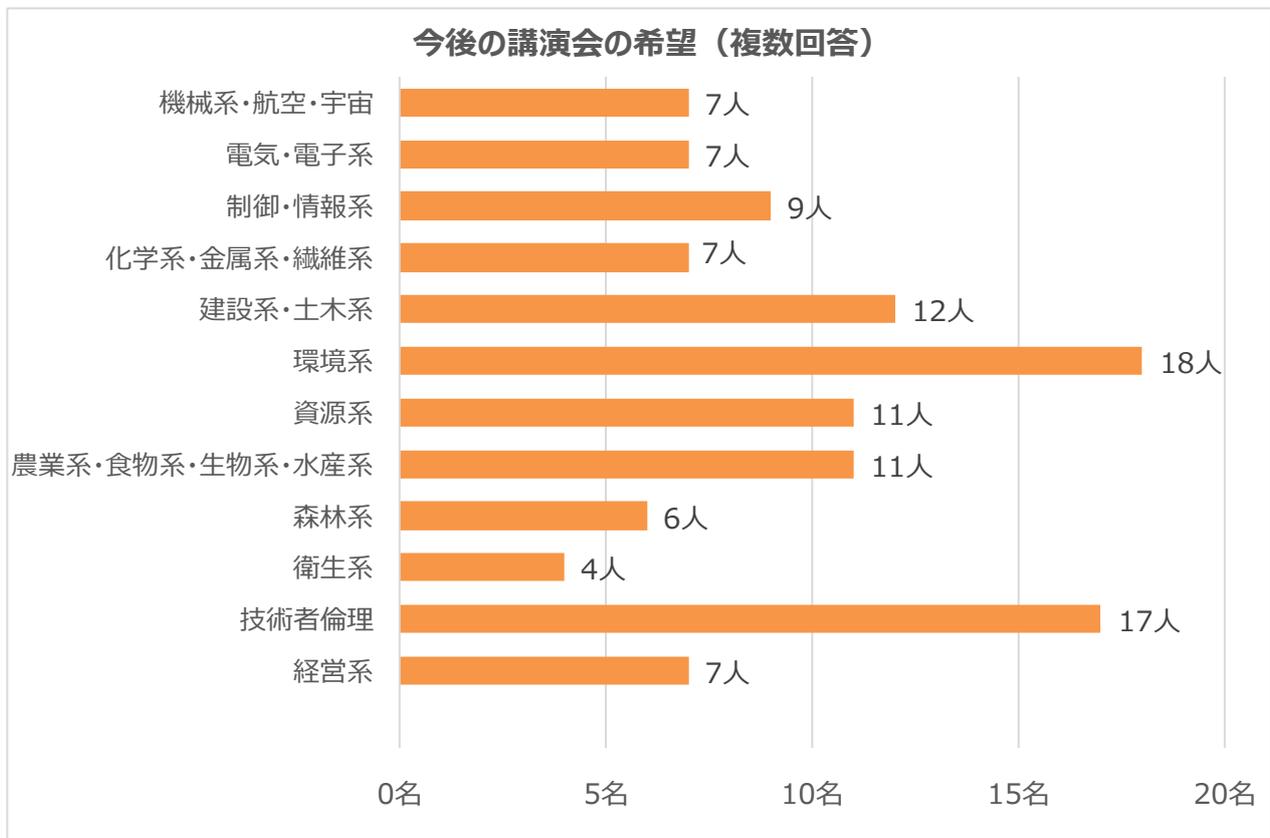
講演 2 「風味のデジタル解析技術」



## Web 講演会について



## 今後の講演会の希望



## 別紙①-1 講演 1「静岡農業の課題と今後必要な取組」コメント（28件）

- 講演者がお二人いたので、事前告知の段階から抜けなくお知らせして欲しい。
- 後半の講演で、課題への具体的な取り組み事例について、もう少し具体的に紹介していただけただら嬉しかったです。
- 農業からもメタンが排出されているなど、初めて知ることが多く参考になりました。
- 具体的な内容を知ることができた。
- 持続的な農業ビジネスレベルへの農地の集約化にはもっとインパクトのある戦略が必要と思われる。
- 農業分野の現状が良く理解できた。
- 勉強になりました。
- 気候温暖化の問題、農業者の人材不足、お米の価格高騰など、幅広い内容で話が聞け、参考になりました。有難うございました。
- わかりやすい内容で声もはっきりして良かった。
- 私としては今の農業の現状と課題について知ることができて有意義でした。
- 網羅的な内容であり、頭の中を整理する意味においても非常に参考になりました。
- 農業の置かれている厳しい状況や対応策を具体的な数字で説明いただき大変有益でした。現在携わっている農業基盤の設計に活かしていきたいと思います。
- 農林水産省の、休耕地に対する認識と取り組みはまだ勉強不足である。更なる調査と政策の立案／施行を要求する。
- 農薬メーカーに勤務していますが、個人的に圃場の方を機械に合わせて整備するという考え方は盲点でした。そのような方針を踏まえた製品開発も検討してみたいと思いました。
- 前半講演者が急に2人となったので驚きました。講演者紹介もありませんでした。
- 総論に触れざるを得ないのですが、静岡あるいは東海に特有の茶以外の話も伺いたかったです。
- 農業の課題について網羅的に理解できました。
- 米価高騰の説明は、マスコミ報道では曖昧なところが比較的定量的な解析が聞けて有意義であった。
- 講演内容が知らなかった事ばかりで、新たな知見を得ることができました。
- 農業を持続させるための技術について下水汚泥の肥料への活用など、また、省力化への対策としてDXを活用するスマート農業への取り組みは興味があった。
- データで説明いただくことにより静岡農業の課題を把握することが出来て良かった。また、課題に対する農水省での取り組みも理解できて良かった。
- 農業支援に対し、個人で参画できる、または敷居が低くなる支援従事者が増えるのではないかと感じた。現状では参画の方法自体があるのかと疑問に思った。
- 遊休農地の活用は、個人レベルでは対応不可能なので農業法人が必要だが、既存の会社が参入しやすければ大きな展開ができるだろうと思います。どこかに壁があるんですね。
- 農業を守っていかなければならない必要性を感じました。
- 最新の農業経営の課題を知ることができました。
- 気候変動に伴い急速に変化する（悪化する）農作物などの安定供給に対処する最新の農業手法 etc について、詳しく理解が進みました。

- 環境問題等と農政に関する問題について、普段あまり意識しない観点から説明をいただき、大変興味深かった。
- 米の価格の高騰の要因について、農林水産省から直に説明を聞くことができ興味深かったです（マスコミの記事から受ける印象と違いました。）

## 別紙①-2 講演 2 「風味のデジタル解析技術」コメント (26 件)

- 受容体の応答評価システムは、これから多くの分野の適用があり、とても期待しています。
- 風味のデジタル化というお話でしたが、介護の現場での臭気の問題などにも応用できるのでしょうか？
- 分析方法が先進を行っていた。
- サイエンスとしては興味深いですが、ビジネスインパクトがもう一つと感じる。
- 臭気や味見をデータ化できるなんて今回の講演で初めて知ったことなので、講演内容はとてもためになりました。現在とある案件でかかわっている会社に 3 人の臭気判定士がおられるが、人間の感覚が本当に機械に置き換わるのか、非常に興味のある技術だと感じた。
- 身近なことでもあり、面白かった。
- 孫 (2 歳) が、バナナを好んで食べますが、それ以外の食べ物は、口に入れようとしません。経験により、味やにおいになれることを聞き安心しました。孫も年を取れば、食べるようになると思います。
- 風味という難しい課題をどういう視点で取り組むのか興味があった。
- 今後の農業、食品業界にとって特殊人材不足を解消できそうな気がします。それからこの技術の結果だけを悪意の者に利用されてしまわないか心配です。
- とても関心のある分野であり、新たな知見を沢山得ることができました。講演内容もさることながら、資料がとても分かり易く、その点においても参考になりました。
- 興味深い反面、高度であった。これを機に興味の増進と学習に努めたい。
- 食品の分野でも医農薬に近い事をやっているなという印象でした。この分野の手法も農薬開発に取り入れられるか、可能性を調査してみたいと思いました。
- 味覚の先端技術と応用方面を知ることができました。
- ハイチュウを自宅で食べました！
- 一般の方の理解とは違って興味深い内容でした。今後、一般の方でも使えるような技術になることを期待いたします。
- 素晴らしい研究！ベンチャー企業も立ち上げて産用の用の開拓もされようとしている。これからの発展を大いに期待したい。
- 講演内容が知らなかった事ばかりで、新たな知見を得ることができました。
- 味、香り (匂い) の D X 化によりうまさを設計することが可能、風味を言語化することで A I が活躍する時代を感じました。
- 風味を感じるメカニズムやそれを定量的に測定する技術を知れてとても勉強になった。
- 香り と 味は、別なんですね。化学のお話で大変面白かったです。
- 私達がどうやっておいしさを感じるのか興味深かったです。
- 風味を臭いで感じる新しい発見でした。
- 未来に向け、風味をデジタル解析によって伝えていく取組みは大切だと思いました。
- 風味を構成する要素をデジタル的に分解し評価可視化する手法を勉強することができて、とても面白かったです。
- 感覚的な物事を以下に表現して他者に伝達するのか。と言った事に対する一つの回答であろうと思う。
- 世界的人口増加による食糧供給増加の必要性を背景にした代替食品開発のために最も需要がある技術のあるようでしたが、有機農業の野菜や米の風味の良さを明確にする等、自然環境との調和した食糧生産を促す方向にも活用してほしい技術だと思いました。

## 別紙② その他・全体コメント（14件）

- 2件目の講演は拝聴できませんでしたので、評価ができませんでした。
- 経営工学分野の講演を希望します。
- 質疑について回答があるのでしょうか。
- 2講座とも、参考になりました。ありがとうございました。
- c p dのため、参加しています。講演をいつも楽しみに聞いています。これからもよろしく願います。
- 今回の内容は、自らの専門や興味の対象に近いところがあり、とても新鮮でした。類似した講演を希望します。
- お盆など休暇期間中の開催は避けて欲しい。
- 質問時間を多少、長めに設定された方がよろしいと思いました。
- 仕事の都合上、平日の参加が厳しいので、土曜日開催して頂き、ありがとうございました。また参加させていただきます。
- 自動運転、AI、防災土木、上下水道・ガス管・地中埋設電インフラインフラ。
- 開催時期はお盆を外して頂きたかったです。
- 最初の講演者のご紹介が、次第になかったのが残念です。登壇が急遽きまったのですね。
- 聴講された方からの質問がたくさん出て、この頃の例会の中では、盛り上がった例会であったように感じる。
- 中部支部のように、とは言いませんが、可能であれば年に1回、倫理に関する講演を希望します。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上